



コスモス

NO.30 配付用

校訓：支え合い 学び合い たくましく
学校教育目標

「ふるさとを愛し 志をもって
チャレンジする人を育てる」

三豊市森林プロジェクトに5年生参加

地球温暖化。ここ数年の異常気象。猛暑が当たり前になっている昨今。このままだと、子どもたちが大人になる頃にはどんな状況になっているのか！？不安や心配は年々増すばかりです。しかし、心配しているだけでは何も変わりません。自分たちにできることに取り組む必要があります。

5年生が『三豊市森林プロジェクト』に参加し、植林活動に取り組みました。これは、三豊市の『脱炭素社会の実現』に向けた取り組みの一環です。三豊市と連携企業さんが連携・協力し、脱炭素の取組を推進することで、三豊市域における脱炭素社会の実現に貢献することを目的としています。その一つとして、植林活動及び環境学習を行うものです。植林の場所が財田町なので財田小学校に、そして、社会科で森林の働きについて勉強する5年生に白羽の矢が立ちました。

11月18日(火)。財田中橋から財田川沿いを吉田方面に進んだ所が今回の植林の場所でした。

9時30分開会。山下市長さんのご挨拶があり、その後には、連携・協力企業の方々のご挨拶もありました。

また、先日公募により決定した『いこいの森 財田』を命名した さんへの記念品授与も、市長さんから行われました。大きな看板も設置されました。

続いて、西部森林組合の方から植林の仕方の説明をお聞きし、いよいよ植林開始。予め決めておいたグループに分かれて、教えていただいた方法で、穴を掘り、ヒノキの苗木を植え、土をかけ、踏み固めます。ヒノキの葉には表と裏があるので、表に日光がよく当たるように、表を南向きに植えることを教わったので、葉の向きに注意して植えました。市長さん、市の担当の方々、関連・協力企業の方々といっしょに、100本の苗木を植えました。どの子も大変よくがんばり、予定よりも早く完了することができました。

最後は『いこいの森 財田』の看板の前で、全員で記念写真を撮りました。

財田の未来、三豊市の未来、ひいては地球の未来を担う5年生の子どもたち。今回の体験を今後に活かしてくれると信じています。



先日、『いこいの森 財田』とは川を挟んで反対側の県道を通っていると、苗木の周りにネットのようなものが張られていました。動物などによる被害に遭うのを防ぐために設置していただいているのでしょうか。私たちも関心をもって苗木の成長を見守り、できることには積極的に関わっていきたいと思います。みんなの力で苗木が守られ、育てられ、大きな木となり、みんなのいこいの森となる未来が楽しみです。

当日の様子が、【三豊市ホームページ>過去のほっとニュース>「いこいの森 財田」を育てよう】に、たっぷり掲載されています。どうぞご覧ください。